

主催：三重県サッカー協会医科学委員会  
協力：三重県理学療法士会



# プレーヤーのことが 守られていますか？



←お申込みはこちらから  
(期限：3月10日)

プレーヤーが現場で負傷したとき、迷わず医療機関を受診されていますか？  
怪我をしてから、競技復帰に至るまでの、リハビリの流れを理解していますか？  
どのくらいまで回復していたら、プレーに復帰させていいのか説明できますか？

少しでも不安のある指導者の方、大切なプレーヤーを守るためにも是非参加を！

演題1：現場でよくみる外傷 (肉離れ、足関節捻挫、膝半月・前十字靭帯損傷) -これだけは抑えておきたい注意点-  
中空 繁登 (整形外科医・三重県サッカー協会医科学委員長)

演題2：外傷後のリハビリ (病院からグラウンドへの復帰)  
坂口 弘樹 (理学療法士, AT・三重県U-13 県トレセン帯同)

演題3：外傷後のリハビリ (グラウンドでのアスリハ・競技復帰)  
安部 稔 (AT・ヴィアティン三重 専属トレーナー)

活動報告：鈴鹿ポイントゲッターズにおけるチームドクターの役割  
藤川 祐基 (整形外科医・鈴鹿ポイントゲッターズ チームDr)

三重県トレセンにおけるトレーナーの役割  
兵頭 弘康 (理学療法士・三重県U-12 県トレセン帯同)

第4回 MFMC  
mie football medical conference

3月13日(日) 18時～21時頃

参加費 1,000円 (学生無料)

オフライン (鈴鹿回生病院)・オンライン (Zoom) 同時開催

※オフラインは先着50名限定 (社会情勢次第で、オンラインのみとなる可能性もございます)